

「あなたが信じたとおりになるように」(2020.10.18)
神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。(創世記1:3)

カファルナウムに一人のローマの百人隊長がいた。忠実な彼の僕が瀕死の状態だった。彼はイエス様に近づき、「ただ、ひと言おっしゃってください。そうすれば、わたしの僕はいやされます。」と懇願した。彼のこの信仰をご覧になったイエス様は、「帰りなさい。あなたが信じたとおりになるように。」と言われ、帰ってみると、まさにその時、僕の病気はいやされていた。(マタイ8:5-13)



エリコの近くで物乞いする一人の盲人がいた。イエス様が通られると聞いて、「わたしを憐れんでください。」と叫び続けた。黙らせようとする人々の声よりもさらに大声で。足を止められたイエス様は、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを救った。」と言われ、彼はたちまち見えるようになった。(ルカ18:35-43)

信仰と癒しの関係を考えたい。信仰のあるところに癒しは起こる。でも、信仰が癒しを起こしているのだろうか。そうではなく、そこにイエス様の御声があった。「あなたが信じたとおりになるように。」「見えるようになれ」である。イエス様の御声こそ癒しの原動力、癒しの十分な条件である。でも、信仰も癒しのためには必要な条件である。百人隊長も盲人もイエス様に対して揺るぎない信仰を持っていた。その信仰にイエス様は耳を傾け、立ち止まり、御声を発せられたのである。もし、私たちが、疑いながらイエス様に近づき、癒しを求めたならば、御声の結果は疑っているとおりのことが起こるだけである。見せかけの信仰では、見せかけの結果しか起こらない。

私たち横手教会は、主題聖句としてイザヤ43:19を掲げている。「見よ、新しいことをわたしは行う。・・・荒れ野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。」このみ言葉を神の約束と信じ、そうなると信じて、荒れ野の石一つでも拾う、砂漠の砂を少しでも掻き分ける、その上で「ただひと言おっしゃってください。」と祈る時、主の御声が発せられ、聖霊が働き、み言葉は現実となる。

皆さん、祈りましょう！「主よ、私はあなたとあなたのみ言葉を信じます。どうか今、ただひと言、『あなたが信じたとおりになるように。』とおっしゃって下さい。」